



武の子

令和8年7月28日

恵那市立武並小学校

学校報 NO.6

TEL : 0573-26-6873

E-mail: takenami-e@ena-gif.ed.jp



「武並小学校ホームページ」へ

挑戦する心が育った1学期

校長 各務 恵美

4月の始業式で、子供たちに「笑顔と思いやりと意欲のあふれる学校」をみんなでつくってこうと話しました。また、一人一人が目標をもち、挑戦し続けてほしいことも伝えました。

1学期を振り返ると、子供たちの「意欲」の成長をたくさん感じる事ができました。授業では、先生や仲間のお話をしっかり聞く姿、自分から質問する姿、じっくり考える姿、自分の考えを工夫して表現する姿が数多く見られました。また、分からないことや難しいことにもあきらめずに挑戦し、自分なりの目標に向かって努力する姿が印象的でした。

意欲とは「できるからやる」のではなく、「やってみよう」という気持ちです。子供たちは、この1学期、自分なりの挑戦を積み重ねながら着実に成長してきました。特に運動会の結団式では、赤団も白団も力強い声を響かせ、集団としての意欲や一体感を感じる事ができました。4月から積み重ねてきた経験が、子供たちの自信となって表れていることを大変嬉しく思いました。

こうした姿から、私たちが目指す「笑顔と思いやりと意欲のあふれる学校」に一步步近づいていることを実感しています。また、子供たちが安心して学校生活を送り、様々なことに意欲的に取り組むことができたのは、保護者の皆様の温かい励ましとご支援、そして地域の皆様の見守りとご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

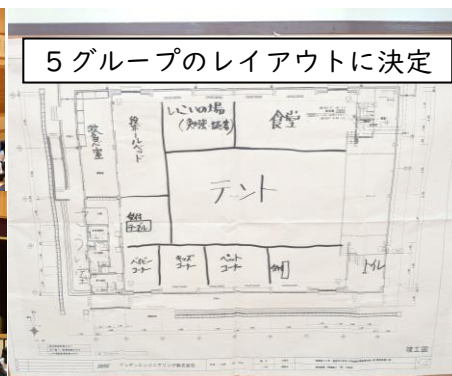
夏休みは、家庭や地域で過ごす中で自分なりの目標をもち、学習や読書、研究、スポーツなどに取り組みながら、自分自身をさらに伸ばしてほしいと願っています。

8月15(日)の武並町夏まつりでは1学期に練習した武並音頭を子供たちと一緒に踊ることを、8月30日(日)の恵那市防災の日は、一回り成長した子供たちと元気に再会できることを楽しみにしています。よい夏休みをお過ごしください。

児童が挑む避難所開設訓練 『一つには絞られましたが、学び続ける児童の姿となりました』



6年生の発表の様子



審査は4～6年生、教職員、地域代表として防災士、武並消防団、学校運営協議会代表、武並振興事務所長、武並町市議会議員の方々で行っていただきました。

5月の防災スクール開校式以来、全校で防災学習に取り組んできました。6年生は地震体験車で能登半島地震の揺れを体験し、大きな地震が発生した際に起こる様々な被害や避難所の必要性について学びました。その後、4～6年生は段ボールベッドや簡易トイレ、伝言ダイヤルなどについて学習し、「安心して過ごせる避難所とは何か」を考えてきました。

特に6年生はグループごとに避難所の案を作成し、4・5年生との協議を重ねながら、一つの計画へとまとめました。8月30日(日)の恵那市防災の日に行う避難所開設訓練では、児童が主体となって避難所を準備し、来場者へ工夫や思いを紹介します。

また、学校や武並振興事務所の防災設備についても学ぶ予定です。児童が自ら課題を見つけ、仲間と話し合いながら避難所づくりを進めてきたことに大きな成果を感じています。児童が「守られる側」から「支える側」へと成長していることを大変頼もしく感じています。保護者・地域の皆様にも、ぜひ避難者としてご参加いただき、地域ぐるみで防災について考える機会としていただければ幸いです。